

7/22 箕田 これまでのものを修正しました
修正箇所 赤字にしました

2022/07/22

計測・当日の走行距離等について

エコマラソン長野 2022 事務局

1 ガソリン車の燃料の計測方法について

①燃料タンクについて

燃料タンクは大会本部で用意しているものや共通のものは無く、参加チームに持参していただいております。

耐久性や計測精度の面からはホンダの大会と同様のガラス容器が理想的ですが、1個2万円程度と高価なものですので、ホームセンターやカー用品店で販売されているオイラー（オイル差し）を使っているチームが多いです。オイラーを使う場合は底面に空気抜き用の小さな穴を開けて使います。

ガラス製燃料タンクと、プラスチック製オイラー等、ネット販売の例を以下に挙げますので、参考にしていただければと思います。

なお、本大会では、0.1ml まで計測できるメモリが付いた下記のビューレットの使用を推奨します。計測前に燃料を規定値にし、ゴール後に消費した燃料を目測して結果とします。人と人の接触を極力減らしながら、参加チームと事務局が計測値を間違いなく共有できる方法と考えています。ご使用について検討ください。ちなみに、本大会に参加している中学校のチームはこの 25ml タイプを使用しています。

現在 (R4/7/22 現在)、ネットショップ等では品薄状態が続いており、購入が難しいと考えられますので、今年度からの必須化は行いません。

○ガラス製燃料タンク

http://www.fc-design.jp/products/ecorun/air_kit.html#AIRTANK



約 25,000 円

○オイラー

<https://www.monotaro.com/p/6094/7914/?t.q=%83I%83C%83%8B%8D%B7%82%B5>



100 円から 200 円程度

○ビューレット

<https://www.monotaro.com/p/6084/8672/>



25ml タイプは約 2,500 円

②計測方法について

ガソリン車については、多くの参加者の方は全重量計測と、通常の全国大会などで行われるタンク式など重量を計測する方法と、ビューレットのメモリを読む方法の二種類を選択しています

全重量計測については

<http://www.interq.or.jp/www1/mu03/GLADA/>

のサイトが参考になるため、本大会ではこの方式を採用しています

2リットル程度の空のペットボトルをお持ちください。なお、各チームで用意するペットボトルには、ゼッケンNOをマジック等で書いたものをご準備ください。

またタンク式の場合でも、2リットル程度の空のペットボトルにタンクを入れて持ち運び計測を行いますので、ご準備をお願いします

いずれの場合も、走行前と走行後に燃料と燃料系統を合わせて計量します。

③燃料について

燃料は事務局で準備いたしませんので、各チームでご用意ください。燃料の種類は事務局で決めますので、各自の判断をお願いします。なお、計測後の燃費算出において、大会当日の市販されているハイオクガソリンの燃料密度を計測した数値を使用します。

2 EV車の消費電力算出について

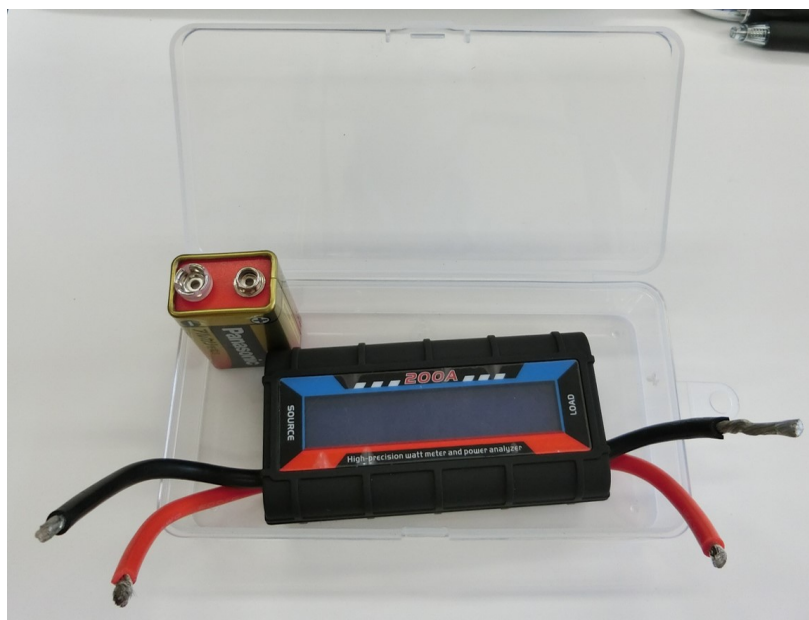
①事務局から貸与するワットメータについて

- ・ワットメータは事務局規定のものを使用。9V のスナップ乾電池を取り付けたものを封印して貸与。*
- ・ワットメータを、バッテリーとブレーカの間に入れ、マシンに取り付ける。
- ・ワットメータは受付時に配付。3回目の計測終了後回収。
- ・ワットメータの端子はクルマに多く使われているギボシ端子を使用。メータの SOURCE、LOAD 共に赤をオス、黒をメスとする。ギボシ端子は受付にて予備を準備。必要なチームには配付可。

<https://www.monotaro.com/p/4085/2903/>

<https://www.monotaro.com/p/4130/1603/>

*参考写真参照



②計測方法

- 出走前・後の積算された消費電力 (wh) の数値を係員が読み取り記録用紙に記載

3 車輛規則について

- 本大会は、エコマイレージチャレンジや Ene-1 の車両規定に準じていますのでそちらを参照してください

4 車検について

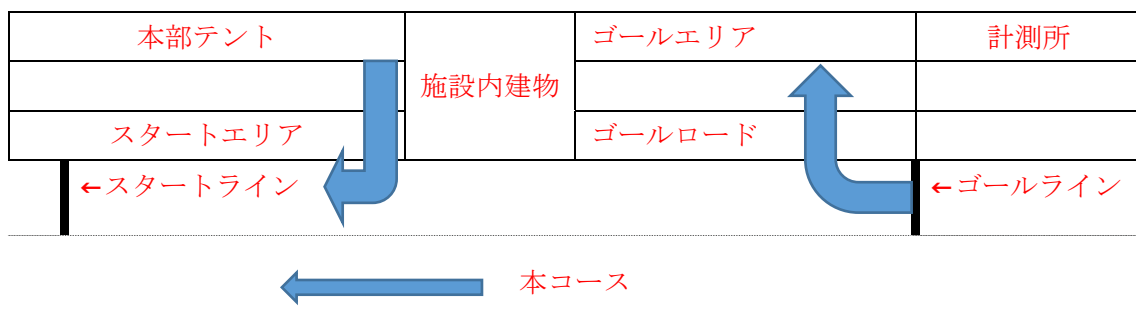
- 3により、係がピットに出向いてクルマの確認を行います。車検を希望するチームの方は、本部テントまでお越しください。

5 本大会での走行距離について

- エコマラソン長野 2022 はクリーンピア千曲施設内特設コースを自作エコカー部門・市販車部門ともに10周（30分以内）とさせていただきます。天候や、新型コロナウイルス感染症蔓延等の状況によっては変更することもあります。一日で完走3回を有効とする点は変更ありません。

6 計測時のスタートとゴールについて

- 計測を始めるチームの代表者は、所定の用紙をもって本部テント前にいる係にスタートする旨を伝えてください。係が確認後、チームのメンバーがスタートラインにクルマを置き、合図に応じてスタートしていただきます。
- ゴールについては、本部でゼッケンとゴールタイムを記録しています。ゴールラインを越えてからは、チームのメンバーがテント付近にあるゴールエリアまでクルマを押すなど補助しながら、すみやかに計測の準備をしてください。
- ガソリン車の参加チームは、重量を計測する場合は係とともに、計測所で計測します。ガソリン車でビューレットを使って計測するチームは、ゴールエリアで係が消費量を計測します。EV車の参加チームもゴールエリアで係が計測します。



7 1日の計測について

- 計測できる時間内に1日で最大3回アタックができます。その中でもっともよい記録をチームの記録といたします。
- 計測の際は、本部に「アタック」を宣言してください。なお、アタック宣言した走行中のリタイアや失格（タイムオーバー、周回数間違え、危険行為など）も3回のうち1回とみなしますので、ご注意ください。
- 練習走行の機会を午前1回、午後に1回設けます。時間は設けませんが、チームで1回ずつ可能とします。練習走行を行う際には、本部に「練習走行」と宣言してから走行してください。1回の練習走行は最大2周までとし、スタートの周回とそのまま連続して走行し、ゴールするまでの周回とする。ただし、スタートして、そのままゴールという1周でも練習走行1回とします。）
- リタイヤした場合でも、1日に3回アタックができるので、再チャレンジができるよう時間内にご準備ください。
- 競技終了時刻を過ぎた場合は、計測終了となりますので、速やかにクルマをとめて各チームのピットに戻ってください。なお、この場合についてもメンバーは本部にその旨を伝えてください。
- 午前の部10:50、午後の部15:35が公式記録受付終了となります。コース閉鎖時刻（午前の部11:15、午後の部16:00）には、周回途中であっても係員が中断させゴールに誘導します。
- 「アタック」または「練習走行」どちらかの宣言をせずにスタートさせた場合は、次の周回に入る前に走行を取りやめ、以後、当日の計測会参加を認めない措置を取りますのでご注意ください。

8 リタイヤについて

- 計測中に走行不能になった場合は、コース外にクルマを寄せ、チームのメンバーがクルマを回収してください。その際、本コースではクルマが走っている可能性があるため、極力コース内には入らないでください。コースの内側の建物側から車をピットテントまで戻してください。なお、リタイヤする場合は本部テントまでリタイヤする旨を伝えてください。
- リタイヤの報告がなかった場合は、以後、当日の計測会参加を認めない措置を取りますのでご注意ください。

9 大会参加にあたっての注意事項

- ガソリン車の計測について、R 5年度以降はビューレットを原則として義務化いたします。なお、購入については各チームでインターネットや学校教材納入業者よりお求めください。ご質問等ご不明な点がございましたら、大会当日本部にてお尋ねください。
- ガソリン車で全重量計測を含め重量計測を行うチームの皆様には、計測所での密を避けるため、計測所にはチーム員 1 名のみしか入れないような措置をとらせていただきます。あらかじめ、分担を決めるなどして、スムーズな運営にご協力願います。
- 会場には参加者の皆さんが使える 100V 電源はありません。各チームで発電機等をご準備ください。バッテリー等の充電については、予備も含めて余裕をもってご準備ください。（これまでに、会場内の電源を使ったチームとそうでないチームとの間で不公平ではないかというご意見を頂戴しました。今後の大会開催にもかかわる大切なことなので、厳守いただきますようお願いいたします。）